人生の先輩から…
～100年健康・シニア活躍～



村岡（むらおか） アヤ子（こ）さん
（下戸田　84歳）

人とのつながりを力に、人生を楽しむ

「人は宝」と話す村岡さんは、友人や仲間と過ごす時間を大切にしています。現在は、近所の老人クラブ（シティ倶楽部）に所属し、TODA元気体操や文化祭、戸田橋花火大会の清掃など、さまざまな活動を楽しんでいます。毎週月曜日に欠かさず練習に行くボウリングは、もう20年以上続けているそうです。

都内で保育士として働いていた頃は「ムー先生」と慕われ、今でも教え子が経営する飲食店に定期的に集まったり、当時の仲間たちと旅行に行ったりと、交流が続いています。市内に移り住んでからは、近所の方が集まる場をつくりたいとカラオケスナックを経営。「人の中にいることが好き」と笑顔で話します。

10年ほど前にくも膜下出血を経験し、スナックを続けられなくなったことをきっかけに、シティ倶楽部に入会。近所の方々とのつながりが増え、今の村岡さんの活動的な生活に結びついたそうです。

「健康に100歳まで生きたいから、大好きなお肉もたくさん食べるの」と楽しそうに話す村岡さん。友人や仲間は「宝」。これからも人と会い、笑って、交流の中で新たな楽しみを見つけていきます。

こどもアート館



班目（まだらめ） 航佑（こうすけ）さん
（戸田第二小学校　5年）

作品名
「夏のフィナーレ」

この絵は花火のいろんな色を表現するために色鉛筆、カラーペン、絵の具などのさまざまな道具を使ってかきました。黒く塗った絵の具の上にクーピーを塗ったら、光って見えたので、それを生かして描きました。



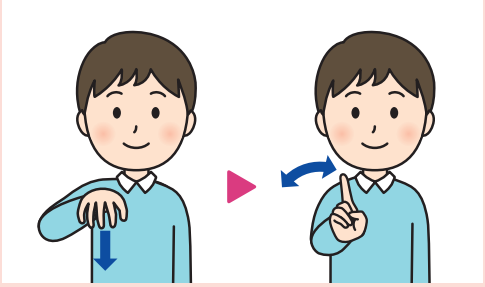
手話でコミュニケーション

第74回

今月は、「どこ」「隣」についての手話を紹介します。

問い合わせ　障害福祉課（内線 297）

どこ



指を折り曲げた右手を下に向けて軽く下ろし、立てた右手人差し指を胸の前で左右に振る。

隣



人差し指を伸ばし、手の甲を上にした右手を、胸の前でひっくり返す。

市手話チャンネル

さまざまな手話を動画で紹介しています。
ぜひご覧ください。